

令和6年度病床機能報告の結果について

- 医療法第30条の13に基づく病床機能報告は、地域における病床の機能の分化及び連携の推進のため、一般病床又は療養病床を有する医療機関が都道府県に病床の機能や入院患者に提供する医療の内容等を報告する制度です。
- このたび、令和6年度の当報告の結果をとりまとめましたのでお知らせします。
- なお、「定量的基準に基づく病床機能の推計値」は各構想区域において平成31年度に合意を得た推計方法を用いて算定しています。

千葉県 健康福祉部 医療整備課 地域医療構想推進室

電話番号：043-223-2457 メール：chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp

病床機能報告制度

第19回医療計画の見直しに関する
検討会(令和2年3月13日)資料1

- 各医療機関（有床診療所を含む。）は、毎年、病棟単位で、医療機能の「現状」と「今後の方向」を、自ら1つ選択して、都道府県に報告。

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能 ※高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例 救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室であるなど、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟
急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能。 ○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）。
慢性期機能	○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

- 回復期機能については、「リハビリテーションを提供する機能」や「回復期リハビリテーション機能」のみではなく、リハビリテーションを提供していなくても「急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療」を提供している場合には、回復期機能を選択できることにご注意ください。
- 地域包括ケア病棟については、当該病棟が主に回復期機能を提供している場合は、回復期機能を選択し、主に急性期機能を提供している場合は急性期機能を選択するなど、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択してください。
- 特定機能病院においても、病棟の機能の選択に当たっては、一律に高度急性期機能を選択するのではなく、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択してください。

(参考)病床機能の定量的基準による推計方法



「定量的基準に基づく病床機能の推計値」は各構想区域において平成31年度に合意を得た以下の推計方法を用いて算定している。

1) 実態把握調査(区域内の全病院を対象)を実施した構想区域【香取海匠・山武長生夷隅・市原】

- 平成30年度に行った調査結果を活用し、病床機能ごとに病床単位で病床数を集計する。

2) 実態把握調査を実施していない、又は一部の病院しか調査を実施していない構想区域【千葉・東葛南部・東葛北部・印旛・安房・君津】

- ① 医療機能が明確な病床
 - 救命救急病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟等は、各機能に応じ病床数を集計する。
- ② 高度急性期機能
 - 東葛南部、印旛の構想区域は、平成30年度に行った調査結果を活用し、病棟当たりの平均医療資源投入量47,000円を超える病棟を高度急性期とみなして病床数を集計する。
 - その他の構想区域は、救命救急やICU等において多く提供されている医療の算定回数を設定し、当該基準を超えるものを高度急性期とみなして病床数を集計する。
- ③ 急性期・回復期機能
 - 病棟に各病期の患者が混在していた実態把握調査の結果を活用し、「急性期60:回復期40」の割合を乗じて、病床数を集計する。

※千葉、東葛南部、東葛北部は、平均在院日数や病床稼働率等を考慮して割合を補正

【千葉・東葛北部】70:30

【東葛南部】75:25

令和6年度病床機能報告と定量的基準に基づく病床機能の推計値

R7.7.1

1 必要病床数との比較

(単位：床)

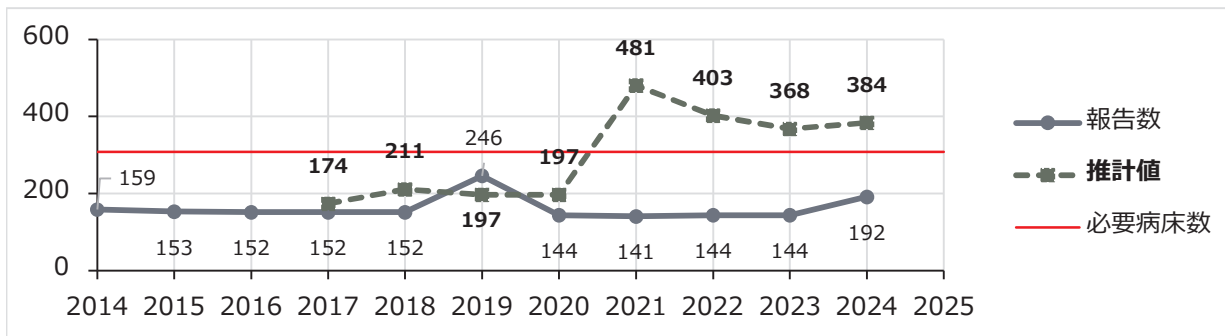
区域	医療機能	必要病床数 (R7年) A	病床機能報告 (R6.7.1) B	差し引き B-A		定量的基準に基づく病床数		
						R6推計値 C	差し引き C-A	
千葉	高度急性期	1,077	1,018	▲59	不足	1,628	551	過剰
	急性期	3,028	4,023	995	過剰	2,701	▲327	不足
	回復期	2,520	1,218	▲1,302	不足	1,975	▲545	不足
	慢性期	1,859	1,933	74	過剰	1,898	39	過剰
	休棟等	-	179			169		
	計	8,484	8,371	▲113	不足	8,371	▲113	不足
東葛南部	高度急性期	1,376	1,379	3	過剰	1,358	▲18	不足
	急性期	4,783	5,732	949	過剰	4,799	16	過剰
	回復期	4,072	2,146	▲1,926	不足	3,121	▲951	不足
	慢性期	2,779	1,699	▲1,080	不足	1,546	▲1,233	不足
	休棟等	-	328			460		
	計	13,010	11,284	▲1,726	不足	11,284	▲1,726	不足
東葛北部	高度急性期	1,386	2,200	814	過剰	2,153	767	過剰
	急性期	4,227	4,404	177	過剰	3,352	▲875	不足
	回復期	3,647	1,227	▲2,420	不足	2,205	▲1,442	不足
	慢性期	2,439	2,291	▲148	不足	2,289	▲150	不足
	休棟等	-	70			193		
	計	11,699	10,192	▲1,507	不足	10,192	▲1,507	不足
印旛	高度急性期	594	1,605	1,011	過剰	701	107	過剰
	急性期	1,947	2,248	301	過剰	2,116	169	過剰
	回復期	1,625	706	▲919	不足	1,842	217	過剰
	慢性期	1,382	1,591	209	過剰	1,484	102	過剰
	休棟等	-	244			251		
	計	5,548	6,394	846	過剰	6,394	846	過剰
香取海匝	高度急性期	289	75	▲214	不足	189	▲100	不足
	急性期	745	1,501	756	過剰	1,022	277	過剰
	回復期	587	306	▲281	不足	552	▲35	不足
	慢性期	560	689	129	過剰	689	129	過剰
	休棟等	-	78			197		
	計	2,181	2,649	468	過剰	2,649	468	過剰
山武長生夷隅	高度急性期	104	32	▲72	不足	112	8	過剰
	急性期	887	1,422	535	過剰	844	▲43	不足
	回復期	946	402	▲544	不足	696	▲250	不足
	慢性期	994	1,173	179	過剰	1,115	121	過剰
	休棟等	-	99			361		
	計	2,931	3,128	197	過剰	3,128	197	過剰
安房	高度急性期	308	192	▲116	不足	384	76	過剰
	急性期	602	1,057	455	過剰	735	133	過剰
	回復期	358	206	▲152	不足	336	▲22	不足
	慢性期	373	437	64	過剰	471	98	過剰
	休棟等	-	58			24		
	計	1,641	1,950	309	過剰	1,950	309	過剰
君津	高度急性期	232	272	40	過剰	401	169	過剰
	急性期	806	1,165	359	過剰	778	▲28	不足
	回復期	810	295	▲515	不足	572	▲238	不足
	慢性期	522	704	182	過剰	685	163	過剰
	休棟等	-	116			116		
	計	2,370	2,552	182	過剰	2,552	182	過剰
市原	高度急性期	284	108	▲176	不足	154	▲130	不足
	急性期	826	1,521	695	過剰	1,046	220	過剰
	回復期	695	315	▲380	不足	695	0	
	慢性期	335	164	▲171	不足	213	▲122	不足
	休棟等	-	48			48		
	計	2,140	2,156	16	過剰	2,156	16	過剰
計	高度急性期	5,650	6,881	1,231	過剰	7,080	1,430	過剰
	急性期	17,851	23,073	5,222	過剰	17,393	▲458	不足
	回復期	15,260	6,821	▲8,439	不足	11,994	▲3,266	不足
	慢性期	11,243	10,681	▲562	不足	10,390	▲853	不足
	休棟等	-	1,220			1,819		
	計	50,004	48,676	▲1,328	不足	48,676	▲1,328	不足

※ 本表の「休棟等」には非稼働、健診のための病棟などのほか、令和6年度病床機能報告の対象医療機関のうち未報告の病床等(38床)を含む。
また、推計値の「休棟等」には、診療実績等のデータの欠損により分類不能となった病棟も含まれる。

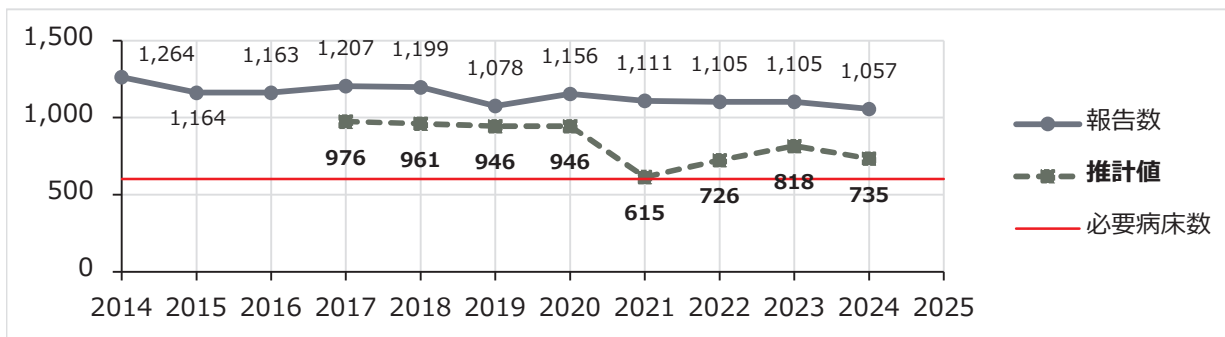
2 当該医療圏における病床機能別病床数の推移（報告数・推計値）

圏域名	安房
-----	----

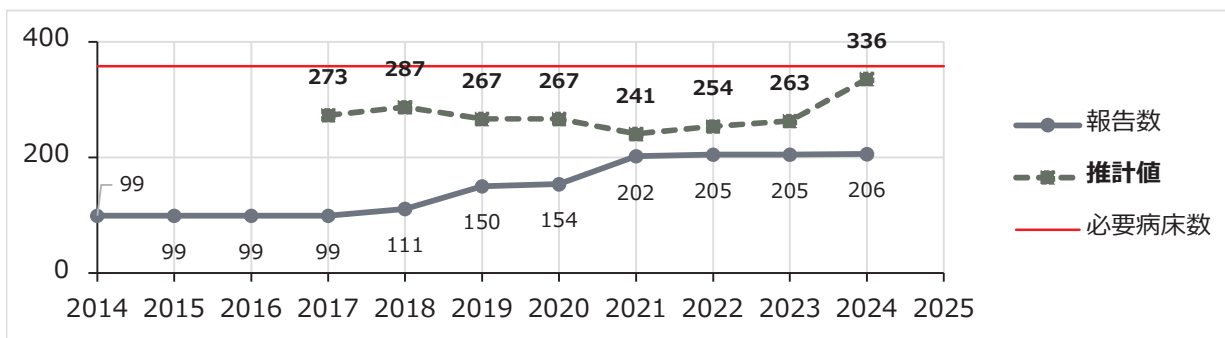
●高度急性期機能



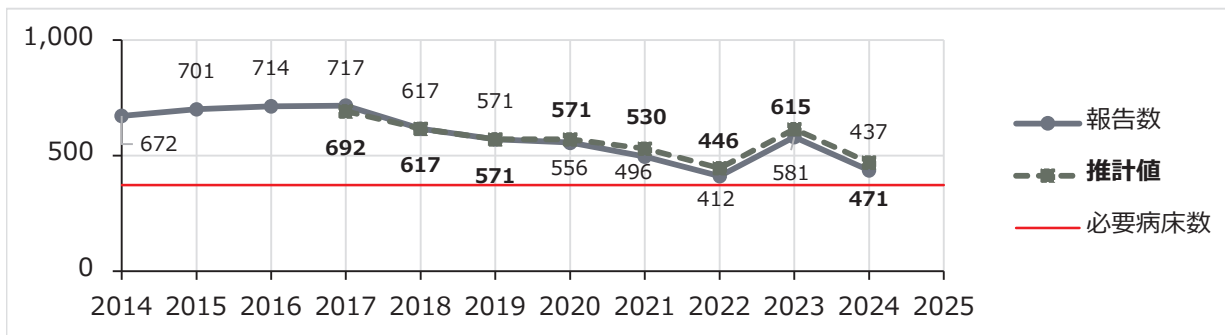
●急性期機能



●回復期機能



●慢性期機能



※ 病床機能報告の一部又は全部が未報告の医療機関の影響により、機能別病床数が増減することがある点に御留意ください。
 ※ 2020(R2)病床機能報告は診療実績等のデータが含まれていないことから、定量的基準に基づく病床機能の推計未実施のため、2019の推計値を再掲。

3 令和6年度病床機能報告 施設別病床数

安房保健医療圏													
№	医療機関名称	4機能 計								休棟等			
		高度急性期		急性期		回復期		慢性期					
		2024	2025	2024	2025	2024	2025	2024	2025				
【病院】													
1	医療法人博正会北条病院	0	0	0	0	0	0	48	48	48	48	0	0
2	社会福祉法人太陽会安房地域医療センター	0	0	149	149	0	0	0	0	149	149	0	0
3	医療法人社団寿会 小林病院	0	0	0	0	0	0	84	84	84	84	0	0
4	医療法人鉄蕉会亀田リハビリテーション病院	0	0	0	0	56	56	0	0	56	56	0	0
5	医療法人鉄蕉会亀田総合病院	192	144	673	721	0	0	0	0	865	865	0	0
6	医療法人明星会東条病院	0	0	52	52	0	0	0	0	52	52	0	0
7	医療法人社団宏和会エビハラ病院	0	0	0	0	0	0	43	43	43	43	0	0
8	医療法人三紫会小田病院	0	0	0	0	0	0	35	35	35	35	0	0
9	医療法人美鷲会中原病院	0	0	0	0	0	0	109	109	109	109	0	0
10	南房総市立富山国保病院	0	0	0	0	47	47	0	0	47	47	0	0
11	医療法人光洋会三芳病院	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	21	0
12	鋸南町国民健康保険鋸南病院	0	0	32	32	0	0	0	0	32	32	34	34
13	医療法人徳洲会館山病院	0	0	57	57	43	43	108	108	208	208	0	0
14	鴨川市立国保病院	0	0	0	0	60	60	10	10	70	70	0	0
【診療所】													
15	医療法人社団晴心会平野眼科	0	0	9	9	0	0	0	0	9	9	0	0
16	医療法人社団清川医院	0	0	14	5	0	0	0	0	14	5	0	0
18	医療法人社団慶勝会赤門整形外科内科	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
19	医療法人社団紫陽会原クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
20	医療法人社団涉仁会佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0
21	医療法人社団佐伯医院	0	0	5	5	0	0	0	0	5	5	0	0
22	医療法人社団マザー・キーファミリー産院たてやま	0	0	12	12	0	0	0	0	12	12	0	0
23	医療法人鉄蕉会亀田クリニック	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
24	医療法人社団花の谷クリニック	0	0	14	14	0	0	0	0	14	14	0	0
圏域 合計		192	144	1,057	1,115	206	206	437	437	1,892	1,902	58	34

※ 2025年の「休棟等」には、廃止予定の病床や介護施設へ移行を予定している病床数を含む。

4 令和6年度病床機能報告 機能別入院基本料・特定入院料

○安房保健医療圏

(1) 高度急性期

入院基本料・特定入院料	病床数	構成比	構成比(全県)
急性期一般入院料1	87	45.3%	61.4%
特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	-	-	15.2%
ハイケアユニット入院医療管理料1	24	12.5%	3.8%
ハイケアユニット入院医療管理料2	-	-	0.5%
救命救急入院料1	34	17.7%	1.6%
救命救急入院料2	-	-	0.2%
救命救急入院料3	-	-	0.8%
救命救急入院料4	-	-	0.7%
小児入院医療管理料1	-	-	0.6%
小児入院医療管理料2	-	-	0.8%
小児入院医療管理料4	-	-	0.7%
新生児治療回復室入院医療管理料	18	9.4%	2.8%
新生児特定集中治療室管理料1	-	-	0.6%
新生児特定集中治療室管理料2	9	4.7%	0.9%
新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料	-	-	0.2%
専門病院7対1入院基本料	-	-	0.2%
総合周産期特定集中治療室管理料(新生児)	-	-	1.4%
総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)	6	3.1%	0.2%
特定集中治療室管理料1	-	-	1.3%
特定集中治療室管理料2	14	7.3%	0.4%
特定集中治療室管理料3	-	-	1.4%
特定集中治療室管理料4	-	-	0.3%
特定集中治療室管理料5	-	-	1.6%
特定集中治療室管理料6	-	-	0.3%
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	-	-	2.1%
有床診療所入院基本料	-	-	0.1%
不明	-	-	0.0%
高度急性期 計	192	100.0%	100.0%

(2) 急性期

入院基本料・特定入院料	病床数	構成比	構成比(全県)
急性期一般入院料1	802	75.9%	48.0%
急性期一般入院料2	-	-	7.1%
急性期一般入院料4	57	5.4%	16.7%
急性期一般入院料5	-	-	3.2%
急性期一般入院料6	-	-	2.2%
地域一般入院料1	32	3.0%	1.9%
地域一般入院料2	-	-	1.2%
地域一般入院料3	-	-	4.5%
地域包括ケア病棟入院料1	52	4.9%	0.2%
地域包括ケア病棟入院料2	-	-	1.0%
地域包括ケア入院医療管理料1	-	-	0.5%
地域包括ケア入院医療管理料2	-	-	1.2%
地域包括ケア入院医療管理料3	-	-	0.1%
ハイケアユニット入院医療管理料1	5	0.5%	0.0%
緩和ケア病棟入院料1	-	-	0.5%
緩和ケア病棟入院料2	-	-	0.4%
小児入院医療管理料1	-	-	1.4%
小児入院医療管理料2	15	1.4%	0.5%
小児入院医療管理料3	-	-	0.4%
小児入院医療管理料4	-	-	0.3%
障害者施設等10対1入院基本料	-	-	0.2%
専門病院7対1入院基本料	-	-	1.5%
特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	-	-	0.1%
地域包括医療病棟入院料	-	-	0.2%
新生児治療回復室入院医療管理料	-	-	0.1%
有床診療所入院基本料・有床診療所療養病床入院基本料	94	8.9%	5.6%
不明	-	-	1.0%
急性期 計	1,057	100.0%	100.0%

(3) 回復期

入院基本料・特定入院料	病床数	構成比	構成比(全県)
回復期リハビリテーション病棟入院料1	99	48.1%	55.5%
回復期リハビリテーション病棟入院料2	-	-	5.2%
回復期リハビリテーション病棟入院料3	-	-	9.4%
回復期リハビリテーション病棟入院料4	-	-	0.5%
回復期リハビリテーション病棟入院料5	-	-	1.2%
地域包括ケア病棟入院料1	60	29.1%	8.1%
地域包括ケア病棟入院料2	-	-	7.0%
地域包括ケア入院医療管理料1	47	22.8%	2.0%
緩和ケア病棟入院料1	-	-	0.8%
急性期一般入院料6	-	-	0.5%
地域一般入院料1	-	-	0.7%
地域一般入院料3	-	-	3.4%
療養病棟入院料1	-	-	0.9%
一般病棟特別入院基本料	-	-	1.5%
小児入院医療管理料4	-	-	0.7%
障害者施設等10対1入院基本料	-	-	0.6%
地域包括医療病棟入院料	-	-	0.5%
有床診療所入院基本料・有床診療所療養病床入院基本料	-	-	1.5%
不明	-	-	0.0%
回復期 計	206	100.0%	100.0%

※上記には以下の管理料の病床も含まれます。
・「地域包括ケア入院医療管理料1」47床

(4) 慢性期

入院基本料・特定入院料	病床数	構成比	構成比(全県)
療養病棟入院料1	379	86.7%	63.3%
療養病棟入院料2	10	2.3%	10.8%
障害者施設等7対1入院基本料	-	-	5.6%
障害者施設等10対1入院基本料	48	11.0%	8.4%
障害者施設等13対1入院基本料	-	-	1.5%
緩和ケア病棟入院料1	-	-	0.4%
緩和ケア病棟入院料2	-	-	0.2%
地域一般入院料1	-	-	0.4%
地域一般入院料3	-	-	2.0%
地域包括ケア病棟入院料2	-	-	1.3%
地域包括ケア入院医療管理料1	-	-	0.6%
地域包括ケア入院医療管理料2	-	-	0.3%
特殊疾患病棟入院料1	-	-	2.3%
特殊疾患病棟入院料2	-	-	0.5%
特殊疾患入院医療管理料	-	-	0.6%
有床診療所入院基本料・有床診療所療養病床入院基本料	-	-	1.1%
不明	-	-	0.9%
慢性期 計	437	100.0%	100.0%

※令和6年病床機能報告による医療機関から報告された病床数、入院基本料・特定入院料に基づき集計。
※入院基本料・特定入院料の報告がないものは「不明」としている。